

明日香村における周遊バス・循環バスへの利用転換実証実験

(平成15年9月～平成17年8月)

背景

村民の生活支援

- ・スクールバスへの県からの補助金の廃止(平成16年度から)
- ・村民の高齢化・過疎化の進行に伴う外出支援の必要性

観光ピーク時の交通円滑化

- ・春・秋の観光シーズンのマイカー観光による慢性的な渋滞

観光客の利便性向上

- ・観光客の減少

実験の概要

明日香村周遊・循環バス「かめバス」の導入

村民のモビリティ確保と観光客の利用という異なる性質の需要に対応するバス交通の構築

周遊バスと循環バス
の組み合わせ

観光客・村民双方の移動性・回遊性を向上させ、
スクールバスの機能も有する新たなスタイルのバス

具体的な取組み

ゾーンバスシステムのイメージ

【実験の主な内容】

ゾーンバスシステムの導入

周遊バス(愛称「赤かめ」):村中心部

循環バス(愛称「金かめ」):村内各地域 村中心部
をそれぞれ運行。

マルチライドシステム導入実験

周遊バスとレンタサイクルが一日何度も利用でき、相互乗り換え可能なマルチライドシステムを、オンシーズン(9～11月)の土日祝日限定で実験的に導入。

村内各地域

循環バス
(金かめ)



村中心部
周遊バス
(赤かめ)



実験の途中経過

利用者が実験前に比べ増加。

村内循環バスの利用実績(H16年度)

5,794人(実験前) 13,078人(+125.7%)

(実験継続中)